

健康長寿・データヘルスの推進について

【担当省庁】厚生労働省

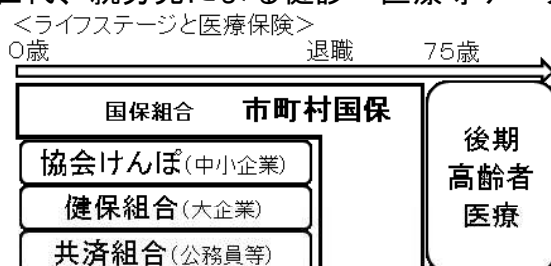
健康寿命の延伸を図るには、健康・医療・介護等のデータに基づく一人ひとりへのきめ細やかな健康づくり対策（データヘルス）を、ライフステージに応じて切れ目なく実施することが重要である。

健康・医療・介護等の情報をビッグデータとして活用可能にするため、保健医療分野の公的データベースに係る第三者提供や連結解析の規定を整備し、いわゆる「保健医療データプラットフォーム」を構築されたところであるが、地方自治体等が、二次医療圏や市町村等を単位とするデータに基づき、地域の健康課題や個人の健康阻害要因を明らかにし、保健事業と介護予防事業の一体的な実施など効果的なデータヘルスを講じることができるよう、活用しやすい形での運用を行っていただきたい。

なお、都道府県が市町村や民間企業と連携して、加入する保険者を限定せずにデータヘルスに取り組むことのできる新たな財政支援制度を創設していただきたい。

【現状・課題等】

- 健康・医療・介護データの第三者提供の制度化や匿名での連結解析を可能とする
「保健医療データプラットフォーム」は、年度を超えたデータの紐付けが技術的に煩雑な作業を伴うことや、顕名データの活用には都道府県からの申出と社会保障審議会における審査が必要であるなど、都道府県での活用に制限
- 定年退職というライフステージの大きな変化を迎え、前期高齢者となる60歳代へのデータヘルスについては、都道府県と市町村が連携して、健康・医療・介護のデータを分析し、エビデンスに基づく疾病予防・重症化予防等の保健事業と生活機能の改善を図る介護予防事業を一体的に実施することが、健康寿命の延伸にとって重要
- 国民健康保険調整交付金や介護保険調整交付金は、事業対象が被保険者等に定められており、府民全体への一体的な施策（IoT等を活用した食や運動の環境整備など）を展開するためには、保険者を限定しない形での財政支援が必要
- 世代、就労先による健診・医療等データの管理主体の変遷



京都府 の担当課	健康福祉部 高齢者支援課 (075-414-4570) 医療保険政策課 (075-414-4576) 健康対策課 (075-414-4724)
-------------	---

【国の事業等】

■健康寿命の延伸に向けた予防・健康づくり〔厚生労働省〕 1,591 億円

- ▶ 保険者のインセンティブ強化（国保・保険者努力支援制度）
- ▶ 生活習慣病の疾病予防・重症化予防等の先駆的なデータヘルス事例の全国展開
- ▶ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進 等

■新たな日常にも対応したデータヘルスの集中改革プラン等の実施〔厚生労働省〕

286 億円

- ▶ NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）や介護保険総合データベース等で保有する健康・医療・介護情報を連結して分析可能な環境の整備 等

【京都府の取組】

■健康長寿・データヘルス推進プロジェクトの概要

市町村や民間企業と連携してライフステージに応じた切れ目ない健康増進対策による府民の健康寿命の延伸を目指し、地域の健康課題の分析やPDCAサイクルに沿った効果的な施策展開を推進することを目的とし、平成30年6月に、庁内横断組織となる「健康長寿・データヘルス推進プロジェクト」を設置

■きょうと健康長寿・データヘルス推進事業 79 百万円

区分	事業	内容
環境整備	ヘルス博 Kyoto 2021 の開催	多様な主体が情報交換を行う機会を創出し、効果的な取組をマッチング
働き盛り世代 や健康無関心 層への対策	民間企業と連携した 健康づくり	民間ノウハウを活かした健康づくりインセンティブ制度の構築
	中食世代に対する健康おぼんざいの普及	スーパー等と連携し、中食等のおぼんざいに塩分量を表示
データ分析に 基づく健康づ くり対策	糖尿病重症化予防対策	人工透析への移行を防ぐためにICTを活用した京都府版糖尿病保健指導モデルを構築
	介護保険PDCA推進強化事業	高齢者の自立支援・重症化防止のため、市町村の取組みを支援
	あんしん安全服薬環境基盤整備事業	重複服薬者への取組みが効果的・効率的に行えるよう基盤を整備
	データ活用能力向上等の人材育成研修	データ活用・分析ができる市町村・保健所職員等を育成